【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和7年6月9日(2025.6.9)

【国際公開番号】WO2024/135830
【出願番号】特願2024-566170(P2024-566170)
【国際特許分類】
*Ｂ６２Ｊ 50/22(2020.01)*
【ＦＩ】
Ｂ６２Ｊ 50/22

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月22日(2024.10.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
スピードメータ（４４）を有して車体に固定される第一メータ（４０）と、
前記第一メータ（４０）とは独立した表示を行うものであり、前記第一メータ（４０）に固定される第二メータ（５０）と、を備える鞍乗り型車両（１）のメータ構造において、
前記第一メータ（４０）は、第一表示面（４１）を有する第一メータケース（４２）を備え、
前記第一表示面（４１）は、その法線方向（Ｓ１）の一側を乗員側に向けており、
前記第一メータケース（４２）は、前記法線方向（Ｓ１）で、前記第一表示面（４１）側の第一アッパーケース（４２ａ）と、前記第一表示面（４１）とは反対側の第一ロアケース（４２ｂ）と、に分割され、
前記第二メータ（５０）は、第二表示面（５１）を有する第二メータケース（５２）を備え、
前記第二表示面（５１）は、前記乗員側に臨んでおり、
前記第二メータケース（５２）は、前記法線方向（Ｓ１）で、前記第二表示面（５１）側の第二アッパーケース（５２ａ）と、前記第二表示面（５１）とは反対側の第二ロアケース（５２ｂ）と、に分割され、
前記第一アッパーケース（４２ａ）と前記第二アッパーケース（５２ａ）とは、互いに別体とされ、前記第一ロアケース（４２ｂ）と前記第二ロアケース（５２ｂ）とは、互いに一体化されており、
前記第二メータ（５０）に少なくとも電力を供給する配線（４９ｂ）を備え、
前記配線（４９ｂ）は、車体側配線から延び、前記第一メータケース（４２）内を通過して前記第二メータケース（５２）内に配索される鞍乗り型車両のメータ構造。
【請求項２】
（削除）
【請求項３】
前記第一ロアケース（４２ｂ）と前記第二ロアケース（５２ｂ）との間の接続部（６０）は、前記配線（４９ｂ）における接続部（６０）を通過する部位を覆う配線挿通部（６０ｃ）を有している請求項１に記載の鞍乗り型車両のメータ構造。
【請求項４】
前記第二メータ（５０）は、前記鞍乗り型車両（１）のギアポジションを表示するギア

ポジション表示部（５４）を有し、
前記第二メータ（５０）は、前記乗員側から見て、前記第一メータ（４０）の左側に位置している請求項１又は３に記載の鞍乗り型車両のメータ構造。
【請求項５】
前記第二メータ（５０）は、現在時刻を表示する時刻表示部（５５）を有し、
前記第二メータ（５０）は、前記乗員側から見て、前記第一メータ（４０）の左側に位置している請求項１又は３に記載の鞍乗り型車両のメータ構造。
【請求項６】
前記第二メータ（５０）は、前記鞍乗り型車両（１）のギアポジションを表示するギアポジション表示部（５４）と、現在時刻を表示する時刻表示部（５５）と、を有し、
前記ギアポジション表示部（５４）は、前記乗員側から見て、前記時刻表示部（５５）の上方に位置している請求項１又は３に記載の鞍乗り型車両のメータ構造。
【請求項７】
前記第二メータ（５０）は、前記鞍乗り型車両（１）のギアポジションを表示するギアポジション表示部（５４）と、現在時刻を表示する時刻表示部（５５）と、を有し、
前記ギアポジション表示部（５４）は、前記時刻表示部（５５）よりも大きな文字サイズで表示を行う請求項１又は３に記載の鞍乗り型車両のメータ構造。
【請求項８】
（削除）
【請求項９】
前記第一メータ（４０）および前記第二メータ（５０）は、操向ハンドル（１５）の前方に位置し、
前記第一メータ（４０）および前記第二メータ（５０）は、それぞれ前記法線方向（Ｓ１）から見て円形状の前記第一表示面（４１）および前記第二表示面（５１）を有し、
前記第二表示面（５１）の円形状の中心（Ｃ４）は、前記第一表示面（４１）の円形状の中心（Ｃ３）よりも、前記第一表示面（４１）に沿う方向で前方に位置している請求項１又は３に記載の鞍乗り型車両のメータ構造。
【請求項１０】
スピードメータ（４４）を有して車体に固定される第一メータ（４０）と、
前記第一メータ（４０）とは独立した表示を行うものであり、前記第一メータ（４０）に固定される第二メータ（５０）と、を備える鞍乗り型車両（１）のメータ構造において、
前記第一メータ（４０）は、第一表示面（４１）を有する第一メータケース（４２）を備え、
前記第一表示面（４１）は、その法線方向（Ｓ１）の一側を乗員側に向けており、
前記第一メータケース（４２）は、前記法線方向（Ｓ１）で、前記第一表示面（４１）側の第一アッパーケース（４２ａ）と、前記第一表示面（４１）とは反対側の第一ロアケース（４２ｂ）と、に分割され、
前記第二メータ（５０）は、第二表示面（５１）を有する第二メータケース（５２）を備え、
前記第二表示面（５１）は、前記乗員側に臨んでおり、
前記第二メータケース（５２）は、前記法線方向（Ｓ１）で、前記第二表示面（５１）側の第二アッパーケース（５２ａ）と、前記第二表示面（５１）とは反対側の第二ロアケース（５２ｂ）と、に分割され、
前記第一アッパーケース（４２ａ）と前記第二アッパーケース（５２ａ）とは、互いに別体とされ、前記第一ロアケース（４２ｂ）と前記第二ロアケース（５２ｂ）とは、互いに一体化されており、
前記第二メータ（５０）は、前記法線方向（Ｓ１）の上下幅（Ｈ２）が前記第一メータ（４０）の前記法線方向（Ｓ１）の上下幅（Ｈ１）よりも狭く、
前記第二メータ（５０）は、前記法線方向（Ｓ１）で前記第一メータ（４０）の上下幅

（Ｈ１）内に配置されている鞍乗り型車両のメータ構造。